

戸塚和昭のプロフィール

Kazuaki Tozuka

生年月日 1967年6月18日

学歴 1985年3月 明照学園樹徳高等学校卒業

祖父について

戸塚和昭の祖父、戸塚美佐男は、1942(昭和17年)年5月10日に横須賀海兵団に入隊
1944年(昭和19年)11月19日、信濃艦長の阿部俊雄大佐の下、大日本帝国海軍の航空母艦
信濃に乗艦、11月29日午前3:20紀伊半島潮岬沖合でアメリカ海軍の潜水艦「アーチャー
フィッシュ」より魚雷攻撃を受け魚雷4本が命中し、午前10:50に沈没した。竣工から
沈没まで艦命は僅か10日間であった。

乗員2400名、生存者1080名、祖父をはじめ生存した乗員は救助された。

後に、祖母と結婚をして、1946年(昭和21年)に戸塚和昭の父親が長男として誕生した。

その後、2人の男子が生まれ男三兄弟の長男として戸塚一美が2代目となる。

祖父である、戸塚美佐男の生還により奇跡的にこの世に生を受けることができた戸塚和昭
は、21歳まで大東亜戦争の悲劇を生々の声で聞く事ができ、曲がり欠けていた心を真っ直ぐ
にしてくれた祖父の言葉を信念とした。この奇跡と歴史を後生にしっかりと伝え、日本男児
として誇りをもって忠義と孝行を尽くし、他人に博愛の手を差し伸べ、人に奉仕をすること
こそが「日本男児の誇り」であると残した祖父の言葉は「謙虚に、人に優しく、潔く」であ
る。

2022年10月より

一般社団法人 自衛隊共に歩む会 隊共会

群馬隊共会 会長に就任

現職

大栄産業株式会社 代表取締役社長

株式会社 REK 代表取締役社長

株式会社 Dai ei 会長

株式会社 アデランスバイオ 会長

資格

1級建設機械施工技士

解体工事施工技士

リサイクル施設技術管理士

GT型光触媒施工技士(特許工法)

防災士、防災管理者

災害備蓄管理士

ICA感染対策シニアアドバイザー

他団体役職

群馬県環境アドバイザー

桂萱小学校学校評議員

前橋東ロータリークラブ 2023-2024 年度 会長

桂萱商工振興会 副会長

樹徳高校硬式野球部 OB 会 会長

公益社団法人 前橋青年会議所 明豊会 幹事

一般社団法人自衛隊と共に歩む会隊共会 群馬隊共会会長

研究業績等

防災・減災・感染症災害に関する技術として、緊急車両、災害派遣車両、ドクターヘリ、災害避難所や防災基地への有効手段を開発。

- ・超微粒子光触媒抗ウイルス薄膜形成技術工法特許取得
- ・超微粒子光触媒薄膜元素検査技術特許取得
- ・超微粒子光触媒製造特許取得
- ・「防災・減災×サステナブル大賞 2023」で「優秀賞」受賞
- ・「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」STOP 感染症大賞 「優秀賞」受賞
- ・令和 6 年度 消防防災科学技術賞 消防庁長官「優秀賞」受賞
- ・敷鉄板水平吊りクランプ特許取得(災害派遣時、二次労働災害防止治具)
- ・日本強靱化構想を独自に組立て、防災・減災の概念は、迅速な復旧復興までであると提唱

日本強靱化構想について

- ・復旧・復興に関するノウハウ、技術、実行力を検討中
- ・目に見えない感染症対策技術コーティング可視化を標準化する
- ・感染症対策レジリエンス検査の必要性和標準化を目指す意味
(新型コロナ、インフルエンザ等、サイレントパンデミックに備える)

大栄産業株式会社協力機関

共同研究先

群馬大学大学院理工学府 板橋英之 教授

共同チーム

千葉大学災害治療学研究所 浅沼博 特任教授

感染対策アドバイザー顧問

千葉大学 害治療学研究所(感染症関連部門)客員教授 鈴木和男 教授

光触媒技術顧問

東京理科大学名誉教授 藤嶋 昭 教授